

牧羊ひろば



名古屋教会 教会学校

小さな群れの教会学校の働きと現状をご報告させていただきます。

「主は言われる、わたしがあなたがたに対してい

いる計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。」(エレミヤ29・11)

「わたしの小羊を養いなさい。」(ヨハネ21・15)



夏期学校（お泊まり会）の様子

●過去から学ぶこと

遣わされた当初、教会学校の子どもはゼロでしたが、神様は私たちにご計画を持っておられるお方だと信じ

て、さまざまな取り組みをいたしました。近くの公園での青空教会学校、天幕伝道による集会、幼稚園・小学校の校門前のチラシ配布、分校による地域伝道など。さいわいなことに、松浦牧師が赴任した当時は、地方からの大学生が教会学校の働きを担い、支えてくださり、若さ溢れる奉仕によって、数においても、教会学校の活動内容においても充実した働きが繰り広げられました。ゼロだった教会学校の子どもたちも20人、30人と集まるようになり、クリスマスに用意するプレゼントが100を超すというような懐かしい思いもあります。そのような大学生の中から、二人の献身者が起こされ、牧師として奉仕されるようになりました。また、学びを終えて、地方に帰られた方の中には、忠実な信徒として教会学校の教師として活躍されたり、教会役員として奉仕される方もあり、主の御名を崇めています。40年以上も一つの教会で奉仕させていただくことは、一人の人の誕生から成長過程、成人後の働きなど、目に見えない神様のわざを可視化して体験させていただけますので、いろいろと教えられることが多くあります。そのような体験に基づき、「わたしたちの知るところは、今は一部分にすぎない。しか

しその時には、わたしが完全に知られているように、完全に知るであろう。」（1コリント13・12）とのみことばの励ましを受け、現状に一喜一憂することなく、一人の魂を愛して、祈り続け、忠実に主に仕えることが大切であると教えられています。



花の日…集合写真

●現状（Ⅰ） 通常の教会学校

教会学校教師が病気や様々な事情でできなくなり、現状は松浦みち子師が担当しています。クリスマスチャンホー

ムの子どもたちが10名ほど集まっています。親と一緒に来ますので、牧師の説教と同時に、別の部屋で子どもと礼拝をしています。大人の礼拝は1階、子どもたちは2階の部屋です。子どもたちの生活に即したみことばの説き明かしをしています。年齢にばらつきがあるので、お母さんにも助けていただいています。



奉仕（聖書朗読）

子どもの礼拝は、まず賛美と祈りの後、その日の聖書の箇所を、高学年の子どもが前に出て読みます。読み終わると、その聖句の中から、質問をして、読んだみこと

ばに注目させます。たとえば、「サマリヤの女」のお話しの場面だとすると、「その日は暑い日でしたか、寒い日でしたか?」「読んだ聖書に出てくる人は、男の人ですか、女の人ですか?」など次々質問して聖句に注目させます。幼い子どもも質問されることがわかつているので、よく聞いています。その聖書の箇所の一句を暗唱し、お話を始めます。そして、聞いたみことばが、子どもたちの日々の生活の血となり肉となるように心がけてみことばを語るようにしています。お話しが終わるとみことばノートに暗唱聖句を書き写し、豆カードを貼って終わります。献金の歌が始まると1階に下りてきて、献金をささげ、頌栄の前奏が始まると子どもたちは講壇の前に整列し、牧師からの祝福を受けます。

●現状(2) 教会学校行事

- 1月 かるた大会、成人の祝福祈禱
- 3月 卒園、卒業を祝う会
- 4月 イースター礼拝、入園、入学を祝う会
- 5月 母の日行事 プレゼント作り
- 6月 花の日 病院訪問や施設の方の訪問

(子どもの作文 二〇一七年の例)

増子記念病院のみなさん、こんにちは。ぼくたちは、この病院の近くの名古屋教会に通っているものです。ぼくたちは毎年、6月第二日曜日を「花の日」とし、この病院を訪問しています。突然ですが、看護師という仕事は大変ですか？ ぼくは大変だと思います。どうしてかというと、何百人もの患者さんのことを助けたり、手伝ったりしているからです。ぼくはそんな看護師さんを尊敬



花の日の様子…花束を渡す

しています。看護師さんや病院で働く人たちのおかげで、命が助かったり、勇気をもらったりして、患者さんたちはうれしいと思います。ぼくは将来、看護師さんや病院の先生のような人を助けて、喜んでもらえる職業につきたいと思います。これからも大事なお仕事がんばってください。二〇一七年6月11日 日本イエス・キリスト教団名古屋教会教会学校」



ナスカレーづくり

7月、8月 キャンプ（お泊り会）、東海地区合同小学生

キャンプ、教区中高生バイブルキャンプなど。

9月、10月 振起日礼拝、遠足など

11月 収穫感謝礼拝、たくわん作り（大根掘りも含め大根を干し、教会の昼食時に食べるたくわんを樽に漬け込む作業）。



子どもたちとたくわんを樽に漬け込む作業

12月 こどもクリスマスマス（キャンドルサービス、お食事

会、工作など）

「おほしがひかる」の賛美の時には、工作上手な子の

特製のぴかぴかと共に賛美します。



クリスマス…賛美の様子、作品「ぴかぴか」

●現状（3）

洗礼式は、基本的には浸礼です。小学生、中学生、高校生が受洗の恵みにあずかります。それらの子どもはあ
る者は大学、就職で名古屋を離れますが、ある者は教会
に留まりつづけて教会員として、聖書朗読、その他の奉
仕にあたってくれています。将来、子どもたちの中から
教会学校奉仕者が起こされ、直接献身者が起こされるこ

とを信じ祈っています。毎月第一礼拝後のグループ祈祷会では、子どもたちのため名前を挙げて祈り、神様のなされる業を期待して歩んでいる現状です。

(松浦みち子)



洗礼式



ナスの収穫



大根収穫